

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
一般	02	01	12	124490	交通安全推進事業(総括)		
総合計画	分野	暮らし					
	政策	2-4	日常生活の安全確保				
	施策	3	交通安全の推進				
目的	交通安全の推進						
対象	市民						
意図	市民の交通安全意識が高まり、交通事故が減少する。						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること							
○交通指導員による街頭指導、交通安全教室の開催 ○交通安全関係団体の活動支援							
市民参画の有無 [無し]							
市民協働の形態		共催		○実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛		○補助・助成		委託	
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
①	街頭指導、広報活動回数	回	計画	6,300	6,300		
			実績	5,931	5,849		
②	交通安全教室開催回数	回	計画	200	200		
			実績	240	242		
③			計画				
			実績				
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
①	交通安全教室参加者数	人	目標	16,000	16,000		
			実績	15,643	16,288		
②			目標				
			実績				
③			目標				
			実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
交通事故のない安全で安心なまちづくりのため、交通安全教室を実施し交通安全意識の高揚を図っている。保育園・幼稚園、小・中学校での交通安全教室が定着している。また、身近で取り組みやすい課題であることから、地域や高齢者において出前講座の人気が高まっている。目標値は、過去の実績を参考にした。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	交通事故撲滅のために、市が主体となり関係団体と協力しながら取り組む必要がある。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	児童や高齢者を中心に交通安全意識を高めるための啓発活動を充実させる必要がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	交通指導員の報酬は、出勤回数によるものが多く、活動回数をこれ以上削減することは難しい。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	全市民を対象としているため公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
交通事故のない安全で安心なまちづくりのため、関係団体と連携して街頭啓発活動、交通安全教室を実施し、交通安全意識の高揚を図る。		

平成 28 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	02	01	12	124490	交通安全推進事業(総括)

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		23,318	23,695		377
財源 内訳	国・県	2,733	2,592		△ 141
	地方債				
	その他	340	341		1
	一般財源	20,245	20,762		517

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部重点施策における目標
安心・安全な日常生活を送っています。

事業開始の背景・経緯
交通事故のない安心して暮らせる住みよいまちづくりを推進するため、交通安全意識の高揚を図る。

事業概要
○交通指導員による街頭指導、交通安全教室の開催
○交通安全関係団体の活動支援

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
子供と高齢者の事故防止が重要。

担当部署 部名 市民生活 課名 市民生活総合相談センター 担当係長 姉帯 工 内線 254

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

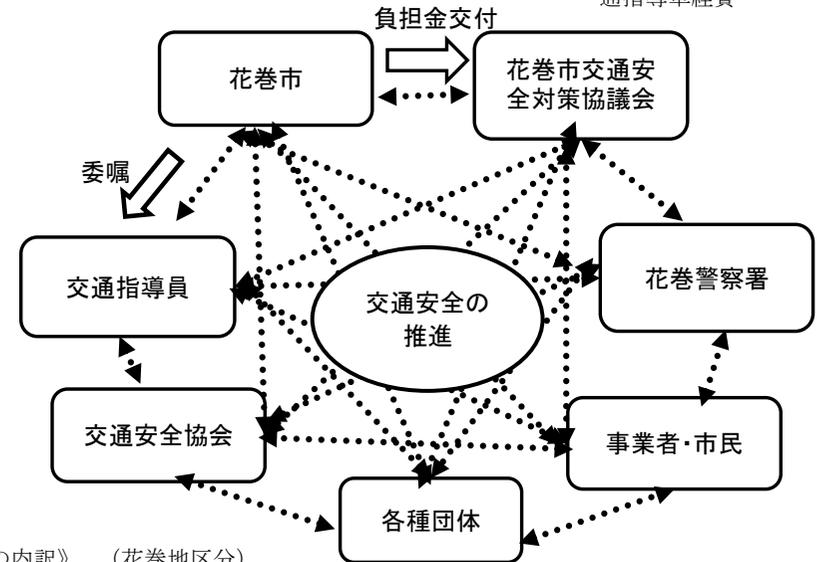
○交通指導員による街頭指導、交通安全教室の開催

- 交通安全教室(延べ242回)
- 交通指導車による広報活動(延べ326回)
- 交通事故相談(9件)
- 交通災害共済手続き(58件)
- 交通安全関係団体への負担金・補助金交付等

交通指導員等活動経費 18,481千円
交通安全関係団体への補助 3,700千円
その他事務費 884千円

事業費	
花巻	23,065
大迫	167
石鳥谷	210
東和	253
合計	23,695

※花巻地区以外は交通指導車経費



《経費の内訳》 (花巻地区分)

科目(節名称)	内訳・積算
1 報酬	交通指導員報酬 1,331千円、出勤手当14,257千円、交通安全専門員報酬1,960千円
4 共済費	社会保険料等 288千円
7 賃金	作業員賃金 69千円
9 旅費	費用弁償 100千円
11 需用費	消耗品費 321千円、燃料費 21千円、貸与被服費 456千円
12 役務費	手数料 34千円、保険料 27千円
19 負担金、補助金及び交付金	岩手県市町村総合事務組合負担金 168千円、岩手県交通指導隊連絡協議会負担金 29千円、交通安全母の会連合会補助金 400千円、花巻地区交通安全協会補助金 1,300千円、花巻市交通安全対策協議会負担金 2,000千円
22 賠償金	補償補填及び賠償金 324千円
27 公課金	自動車重量税 7千円